

00100

第 二 編

房官臣大		課局務主		裁 決	大 臣	件 名	番 受
了結	領受	出提	領受				
明治 八月四日	明治 七月十四日	明治 九年七月七日	明治 九年七月七日	軍事部 五八号	閣	及 内 東 部 支 府 堂 平 部 條 例 及 編 制 表 等 制 定 に 付 は	満蒙受第二 四九號二應名 軍務局軍事課
長	局	帶	聯				
長 課 帶 聯				主務局長	參事官	主 計	主務副官
者 記 筆 案 審				主務課長	參 事		
				主務課員			

各省軍務課



滿蒙受第一九號

十月十日

69
1876
明治十年

東洋總長ノ上奏書

關東都督府陸軍部條例編制表及編制表
 領、韓國駐劄軍司令官部條例編制表及編制表
 望島嶼ヲ列成ノ通制之程度異存之ハ
 所作 允裁理由書お添及協定
 通云々之裁減ハ關東都督府陸軍部編
 制表及韓國駐劄軍司令官部編制表及領
 列成ノ通之程度ハ添

右異議ナキ四答アリタル

上奏書

關東都督府陸軍部條例編制表及領

東謀總長、少協議、按

關東都督府達軍部條例編制表及編制表

[illegible]

ト
ズ

古異淺ナキ四答アリタル

上奏按

關東都督府陸軍部條例並編制及韓

凌軍大府

列代通考 元載

列女

東都府法軍部條例及韓邦國強盜軍紀
金部條例及通制定書及兵部條例及

東都督府官制施行期見同一相成度

秘令抄

朕聞東都管府陸軍部條例ヲ裁ツシ茲ニ之ヲ

上奏	七月	廿一日
裁可	七月	廿一日
因駁還	七月	廿六日

公布せしむ

御名 御璽

壬午年七月廿五日

勅令第二五五号

陸軍大臣

関東都督府陸軍部條例(朝鮮、通)

関東都督府陸軍部條例(朝鮮、通)
(連)

勅令抄

朕韓國駐劄軍司令官郭條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ

公市セシム

御名 御璽

三十九年七月一日

勅令ヲ宣旨

陸軍大臣

韓國陸軍司令官郭條創(利成)通

韓國陸軍司令官郭條創(利成)通

理由

一、關東都府道軍部條例ノ制定ハ關東都

証

頁

昔府吏制々之、結果ニ外ナラス

ニ韓國駐劄軍司令郭條制、制之ハ統監之府
 及置、結果韓國ニ於ケル軍事ハ政及司法
 ニ關スル職域ハ明シ決事ナリ、然レモ至
 リタニハテ韓國駐劄軍司令郭ハ此ノ際就
 時條制ヲ解キ之ヲ常設ト爲シ統監系統
 ラ條制駐劄部隊ニ爲シテ平時ヨリ他國ハ
 主ヨリ教育ハ主ニ經濟ナリ之ヲ指揮監督
 セシメントスルニ至リ

上奏書

陸軍平時編制中改正、付

陸軍大臣

列成、通を伴 元裁

(列成)

上奏	七月	十六日
裁可	七月	廿一日
大蔵送	八月	一日

陸軍平時編制中改正、通改正を以て度々、理由
列成、通、有之

十、本年、編制改正、閣議決定、閣内閣府

ハ、陸軍、陸軍部、陸軍部、陸軍部、編成、及

韓国、陸軍部、司令部、編成、及、実施、順序

若、陸軍大臣、旅、之、之、之、コト、即、度

かし

陸軍平時統制中改正，付

陸軍大臣

劉氏通志卷之九

上
冬
七
月
市

[illegible]

八韓國駐劄軍司令部(一)

才十二條、次二左ノ一條ヲカフ

第十二條、二
韓國駐劄軍司令部、編制左ノ

45
2

一 韓國駐劄軍司令部 附表才七十九号
 才十二條才一項中「二十二」是也、
 係附表才四十九号、次、左、通か
 二十二、
 關東都督府陸軍部 附表才四十九号、
 附表才二十六号、次、
 附表才七十九号、
 附表才四十九号、
 次、
 附表才四十九号、
 二、
 加

理由

關東都督府陸軍部條例及韓國駐劄軍司令部條例制定、結果、
 係制定、必要

アル・由ん

右 乞裁許

左 奏 按 送乙号

陸軍平時編制中左ノ通改正セラル

(左記ハ上奏 按 中ノ記載ノ通)

陸軍省 送乙第一四九〇號

八月一日

左 奏 按 送乙号

関東都府陸軍部編制中左ノ通改正セラル

陸軍省 送乙第一四九一號

(左記 編制ノ通)

八月一日

付在按送乙号

韓國強刻軍司令郭福成等為領左、通定ム

ウル

陸軍省
達

送乙第一四二號

八月一日

三號

(左記の件)通)

關東都督府陸軍部條例草案

第一條

關東都督府陸軍部ハ關東都督ノ所轄内ニ於テ陸軍

一般ニ關スル事ヲ掌ル所ナリ

第二條

關東都督府陸軍部ハ左ノ各部ヲ成ル

參謀部

副官部

參謀部副官部ヲ合シテ幕僚ト稱ス

法官部

經理部

軍醫部

獸 医 部

命令、普及並実施ノ監督

第三條

参謀長、關東都督ヲ補佐シ陸軍ノ機務ニ参画シ

關東都督府陸軍部内一般ノ業務監督ニ任ス

第四條

幕僚ノ各將校及令相當官ニ参謀長ノ職務ヲ受テ

各自分擔ノ事務ヲ掌ル

第五條

法官部長ハ都督ニ隸シ軍事司法ニ関ル業務ヲ掌ル

第六條

経理部長ハ都督ニ隸シ駐劄諸部隊ノ會計経理

ヲ監督シ陸軍土地建造物（國所及鉄道ニ係ル事項並に陸軍部所屬ノ建築費ノ管理ニ係ル事項）ニ係ル事項並に陸軍

監督及土地建造物ノ経理事務ニ係ル陸軍大臣ニ直隸シ

経理部士官以下人事教育ニ関スル陸軍省経理局長ノ區

分ノ事務ヲ掌ル

獸 医 部

命令ノ普及並ニ実施ヲ監督ス

第三條 参謀長、關東都督ヲ補助シ陸軍、機務ニ参画シ

關東都督府陸軍部内一般業務監督ニ任ス

第四條 幕僚、各將校及全相當官ニ参謀長ノ職務ヲ受ケ

各自分擔ノ事務ヲ掌ル

第五條 法官部長ハ都督ニ隸シ軍事司法ニ関スル業務ヲ掌ル

第六條 経理部長ハ都督ニ隸シ駐劄諸部隊ノ會計経理

ヲ監督シ陸軍土地建造物（國防及鉄道ニ係ルモノヲ除ク）ニ係ル事項ヲ経理

監督及土地建造物ノ経理事務ヲ掌ル但シ會計事務ノ

経理部長官以下人事教育ニ関スル陸軍省経理局長ノ區

分ノ事務ヲ掌ル

處ヲ受リ

經理部長、師團經理部管轄部隊後援會計經理ヲ總轄ス
但駐劄部隊ノ位置ニ依リ師團經理部ヲシテ管掌セラルト
ヲ得

第七條 軍医部長ハ都督ニ隸シ駐劄諸部隊ノ衛生業務ヲ

監督シ衛生部士官以下人事教育並衛生材料ニ係ル事項

ヲ統轄ス但シ陸軍省士官以下人事教育並衛生材料ニ係ル事項

等ニ関スル陸軍省医務局長、區處ヲ受リ

第八條 獣医部長ハ都督ニ隸シ駐劄諸部隊ノ軍馬衛生

業務ヲ監督シ獣医部士官以下人事教育並獣医材料

及蹄鉄ニ関スル事項ヲ統轄ス但シ陸軍省獣医材料ニ係ル事項

軍医部

陸軍省軍務局長ノ區處ヲ受ク

第九條 各部長ヨリ都督ニ具申スヘキ事項ハ豫メ參謀長

ニ開陳シ其承認ヲ受クヘキモノトス

第十條 法官部經理部軍医部獸医部部員ハ當該部長

ノ命ヲ受ケ各自担任部務ニ服ス

第十一條 下士判任文官ハ各該上官ノ命ヲ受ケ庫務ニ服ス

附則

本令明治三十九年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

關東都督府陸軍部編制表

區階級		幕參謀部	僚副官部	法官部	經理部	軍醫部	獸医部	計	考備
少將	乘	參謀長一三			部長	部長		將校同相當官兼任文官	三
	相當官馬				部長二	部長二			
大佐	乘				部長三	部長三		乘馬	三
	相當官馬				部長二	部長二			
中佐	乘	參謀一	副官	理事	技師	部長		三	三
	相當官馬	二參謀			部長	部長			
少佐	乘				部長	部長		三	三
	相當官馬				部長	部長			
大尉	乘	參謀二	副官		部長	部長		三	三
	相當官馬	二			部長	部長			
中尉	乘				部長	部長		三	三
	相當官馬				部長	部長			
少尉	乘				部長	部長		三	三
	相當官馬				部長	部長			
下士		到任文官	書記	內計手	録事	計手	書記	三三	三三

(一)當分、内本表定員、外所要ニ應シ將校同相當官又官技師(手)通譯官雇員及乘馬ヲ増加スルコトヲ得
 (二)技師及技手ハ雇員ヲ以テ代用スルコトヲ得
 (三)本表副官ノ内一名關東都督府副官ヲ兼勤ス
 (四)參謀大尉ナルトキ及副官經理部部員軍医部部員獸医部部長少佐同相當官ナルトキハ各乘馬一頭トス
 部長大佐相當官ニ乗馬二頭

乗下士	馬刳任文官	書記 内計手 九 一	録事 二	計手 七 一 〇	書記 三	書記 二	一 三 三	コトヲ得	ス
-----	-------	---------------------	---------	-------------------	---------	---------	-------------	------	---

降志者、
大(中)德、

関東都督府陸軍部編成要領

一、関東都督府陸軍部、要員は主として関東總督府（戦北陸軍建設部）のモノ
ヲ以テ之ニ充テ准士官以上ノ辭令書リ用フ

二、関東總督府の人員中將校令相當官及文官（関東州民
政署及郵便部、モミテ）都督府に要員ニ用ナラ者ヲ含
ムニシテ関東都督府陸軍部、要員ニ充用セザルモノ一時
該部、定員外ト為シ其官氏名ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ
下士官以下ニシテ過剩モノハ原所屬ニ復歸セシムヘシ

三、過剩馬匹及物件ハ明治三十八年満密発第一三五〇號ニ準

シ関東都督府之ヲ處分スヘシ

四、関東總督府（戦北陸軍建設部）の関東都督府官制施行ノ日ヲ以テ復員

0039

令ヲ用ゐる方使員入

一

二

韓國駐劄軍司令部條例

第一條

韓國駐劄軍司令官ハ陸軍特等軍醫以テ之、親補シ
天皇ニ直隸シ、韓國駐劄陸軍諸部隊ヲ統率シ、韓國ノ防

衛ニ任ス

第二條

軍司令官ハ軍政及人事ニ関シ、陸軍大臣、作戰及動
員計畫ニ関シハ參謀總長、教育ニ関シハ教育總監

ノ區處ヲ受ク

第三條

軍司令官ハ韓國ノ安寧秩序ヲ保持スル為ニ統監ノ
命令アル時ハ兵力ヲ使用スルヲ得、但シ事急ナル場合ニ於

テハ便宜上之ヲ處置シ、後統監ニ報告スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ直ニ陸軍大臣ニ參謀總長ニ報告ス

三

四

五

ノ

第四條 軍司令官ハ隨時部下軍隊及官衙ヲ檢閲シ毎年
 概テ軍隊教育期、終ニ於テ韓南、北各軍事一般ノ景況
 及意見ヲ奏上シ且陸軍大臣參謀總長及教育總監
 ニ報告スヘシ

第五條 韓國駐劄軍司令官ハ各部ヨリ成ル

一 軍參謀部

二 軍副官部

軍參謀部、軍副官部ヨリ幕僚トス

三 軍法官部

四 軍經理部

第十條 軍經理部長、軍司令官、隷下駐劄諸部隊、會計

經理ヲ監督シ陸軍土地建造物（国防ニ關スルモノヲ指ス）ニ係ル事項並修繕部

當此人事教育機構特設臨時董事會但會計事務ノ監督

及土地建造物ノ經營事務關系陸軍大臣、直隸ノ經理部士

唯以下，人事及教育、関する陸軍省、經理局長、區處ヲ受ル。

軍經理部員
師團經理部員
師團經理部員
師團經理部員
駐劄部

隊、位置ニ依リ師團經理部ヲシテ、
 管掌セラルヲ得

第十條 軍軍區部長、軍司令官、隷下駐劄諸部隊、衛生

事務ヲ監督シ衛生部以下人事教育並衛生材料

係以事須日統轄不但此輩常苦官以小人輩欺弄亦時疫

陸軍省醫務局長、匪處ヲ受ク

第十三條 軍獸醫部長、軍司令官に隷シ駐劄シ諸部隊ノ軍馬

第十三條

衛生事務ヲ監督シ醫部士官以下人事教育獸医材料
及蹄鉄及馬具等關シ事務ヲ統轄ス但シ此等事務ハ以下ノ事

關シテ陸軍省軍務局長ノ區處ヲ受リ

第十三條 各部長ヨリ軍司令官ニ異申スヘキ事項ハ豫メ軍務

謀見ニ開陳シ其承認ヲ受クキモノス

第十四條 軍法官部軍法理部軍軍医部及軍獸医部

部長ハ當該部長ノ命ヲ受ケ各自担任ノ部務ヲ取ス

第十五條 下士判士文官ハ各其ノ上官ノ命ヲ受ケ職務ヲ行ス

附則

本令明治三十九年八月十五日ヨリ施行ス

12

韓国駐劄軍司令部編成替要領

一 韓国駐劄軍司令部編成替、為過算、為リ各將校
 令相當官及文官ハ一時談部、定算外、為シ其官氏名
 ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

下士以下ニシテ過剩ノモノハ原所屬ニ復歸セシムヘシ

二 過剩馬匹及物件ハ明治三十八年滿密奏第一三五。號
 ニ準シ韓国駐劄軍司令官之ヲ處分スヘシ

第七十九号

韓國駐劄軍司令部編制表

區分	階級	部									
		大正將	馬	少將	中將	少佐	中佐	少佐	中佐	少佐	中佐
軍司令官	一										
	四										
幕僚	軍參謀部										
	軍副官部										
軍法官部	部長										
	部長										
軍經理部	部長										
	部長										
軍軍醫部	部長										
	部長										
軍獸醫部	部長										
	部長										
計	將校同相當官奏任文官										
	米馬										

以當令内本規定算外所要之應之將校同相當官文官技師(全)通譯官雇員及米馬增加ノ事
 (一)技師及技師ノ雇員ノ以テ用スルコトヲ得
 (二)米馬大尉ニ頭參謀大尉ニ頭及副官經理部各員軍醫部各員獸醫部各員少佐同相當官ナルミテ米馬一頭ノス

第七十九号

和友弓内出

實事求是存偏軍部條例及韓志強劉守
司令中條例制定件別紙此致可也此致

張

歸



七月廿六日

[illegible]

附

大臣院

閣

軍事

陸軍

0049

陸軍省 密受第一八五號

本部參照第三四二號第二

明治三十九年七月十七日

參謀總長 子爵兒玉源太郎

陸軍大臣 寺內正毅殿

陸軍省 陸軍部條例及同編制表並、輯
國野訓軍司令部條例及同編制表制定、之旨、
密奏第一三六号ヲ以テ 仰承、茲具存、各之
此段及回答候也

七月十八日

陸軍省 第五八号

陸軍